

ゲスト：古澤 敦さん

1969 年神奈川県生まれ、神奈川県立平塚江南高校、明治大学政治経済学部卒。

1989 年、大学在学中にベルリンの壁崩壊の現実を自分の目で見ようと休学して東側諸国を放浪、91 年にはアルジェリアからヒッチハイクでサハラ砂漠を縦断しニジェールまで行き、その後も内戦真っ只中のボスニア、カンボジアなど世界の紛争地域を見て歩いた。

NHK文化センターで池上彰氏の教えを受け、1993 年NHK入社。報道ディレクターとして、ブノンペンのごみ捨て場で学校を開いている女性や、ポルポト派兵士、アフガニスタン難民キャンプなどを取材して番組を制作した。

現場をまわるにつれて、ジャーナリストとしての使命と日々の仕事との落差に思い悩み、2006 年、カンボジア・バタンバン地雷原を綿畑にすることを目指して 13 年勤めたNHKを退社。カンボジアに渡り、放棄されていた紡績工場を復興し、NGO「カンボジアコットンクラブ」を立ち上げ、学校へ行けなかった若い人々を雇って綿製品を製作するなど私財を投げうって現地の人々のために尽力し続けている。

人々のためにとわが身を顧みず走り回るその姿はテレビ番組「未来世紀ジパング(テレビ東京)」 「グッと地球便(読売テレビ)」などで放映され、多くの共感と感動を呼び起こした。現在池上彰氏と共著を執筆中。

参加者の「声」(アンケートより)

「行動力がとてもあって、その行動をした結果や仕事の中で学んでいくという話を聞いて、素晴らしい方だなと思いました。また、勝ち負け論の話を聞いて、自分自身はその考え方をしてしまいがちだったので、新しい視点を持つことができました。ありがとうございました。」

「たくさん問題もあると思いますが、とても自分に正直に生きている姿勢は、素晴らしいと思いました。現地の方と笑いを何回も共にされているんだろうと思います。共に、この時を過ごしていることを日々、実感されていると思います。体に気をつけて、これからも頑張ってください。応援しています。」

「同じ高校の先輩でこのような私と真逆の生き方をしている古澤さんのお話はとてもおもしろかった(興味深かった)です。生き方について等、答えの無い問題など個人的にお話してみたいな♫と思いました。」

「「一生懸命の法則」、大変勉強になりました。「必死にやっている人って怖いでしょ、迫力あるでしょ」という言葉に納得し、私も自分のことに覚悟を持って取り組もうと思いました。」

「お話がとても印象的で、さらにグラフィックがお話をさらに深めていました。」